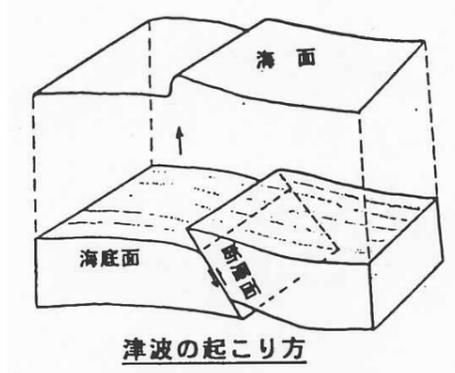


津波とは 発生仕組みとその特徴

1. 津波発生仕組み

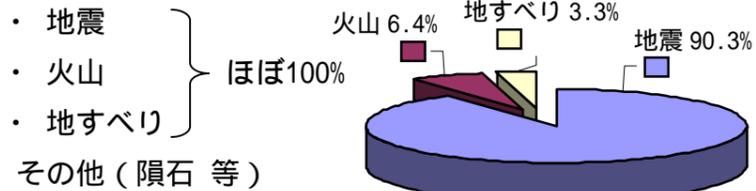
海底面が上下に食い違うことにより、海水が変動する
海底活断層、プレート境界などにより発生



例) プレート境界での発生仕組み



津波の発生原因

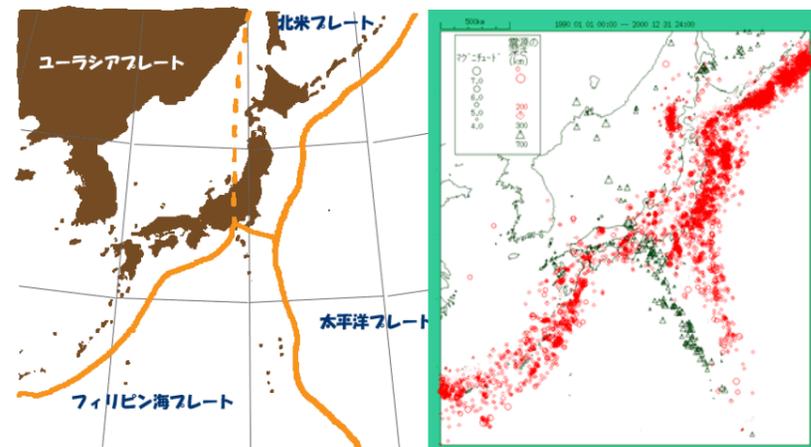
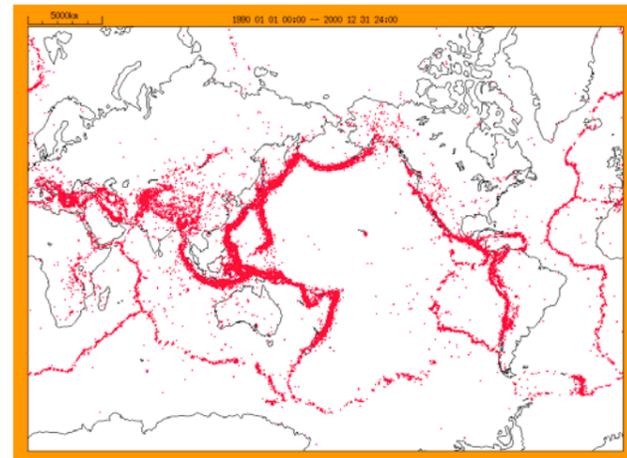


2. 津波発生可能性が高い場所

海底活断層・プレート境界 = 地震発生場所

下図の赤点 (・) の場所で地震が発生している。

海域の赤が濃い場所で津波発生可能性が高い

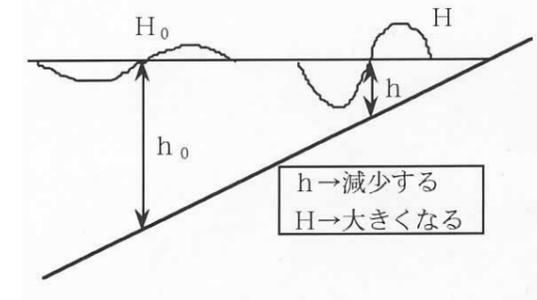


気象庁 HP より

3. 津波の特徴

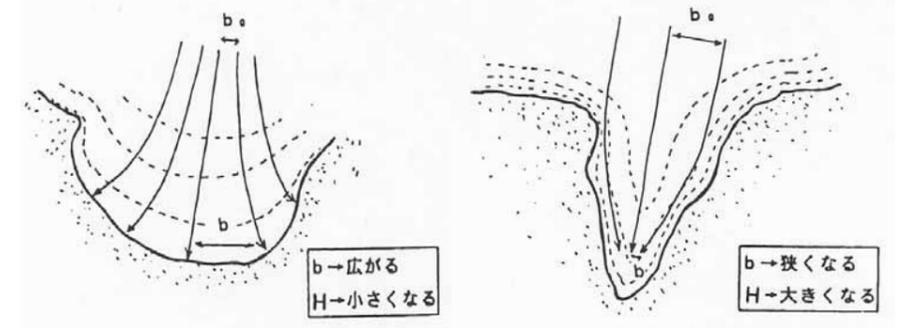
水深が浅い場所での波の変形

海岸に近づき、水深が浅くなると、水深が減少することによって、津波の高さは増大する。



奥が広い湾

奥が広い湾に津波が入ると、波の方向が広がることによって、津波の高さは減少する。



奥が狭い湾

奥が狭い湾に津波が入ると、波の方向が狭くなることによって、津波の高さは増大する。

まとめ

海岸で観測される津波の高さは、主に、地震の大きさ (海底面の食い違いの大きさ) と海岸付近の地形によって変化する。このため、津波による影響は各地点で大きく異なるものとなる。